

視覚障害者の生活と Assistive Technology

七沢自立支援ホーム 視覚障害部門
矢部 健三

プロフィール

- ・ 13歳で失明し、盲学校に転校
- ・ 全盲で初めて県立普通高校に進学
- ・ 大卒後、七沢自立支援ホーム勤務
- ・ 点字・ICT等訓練と生活支援を担当
- ・ 趣味はスキー



コンテンツ

- ・ 視覚障害者の「障害」
- ・ 視覚リハビリテーションの紹介
- ・ 生活を支えるAssistiveTechnology

見えなくなっていて困ることは？

もしも今、目が見えなくなったら、
どんなことに困るだろう？

視覚障害とは何か

感覚の障害

感覚とは生きていくうえで必要な情報を
外部の環境から得る手段

代表的な感覚(五感)

視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚

※その他の感覚もある

視覚からの情報が約8割

視覚障害 = 情報障害

障害の程度は様々

視覚障害は人それぞれ

全盲だけでなく弱視の人も

視力だけでなく視野の欠損も

生まれつきだけでなく中途の障害も

障害の状態や育った環境で

どんなことに困るかは人それぞれ

情報障害①

例) 読み書き

見えない、見えにくいために、
文字の情報がうまく使えない

情報障害②

例) 歩く(移動)

見えない、見えにくいために、周囲の状況がよくわからず、安全・確実に移動できない

情報障害③

例) 掃除(家事全般)

見えない、見えにくいために、
対象物の状態がよくわからず、
適格に汚れを落とせない

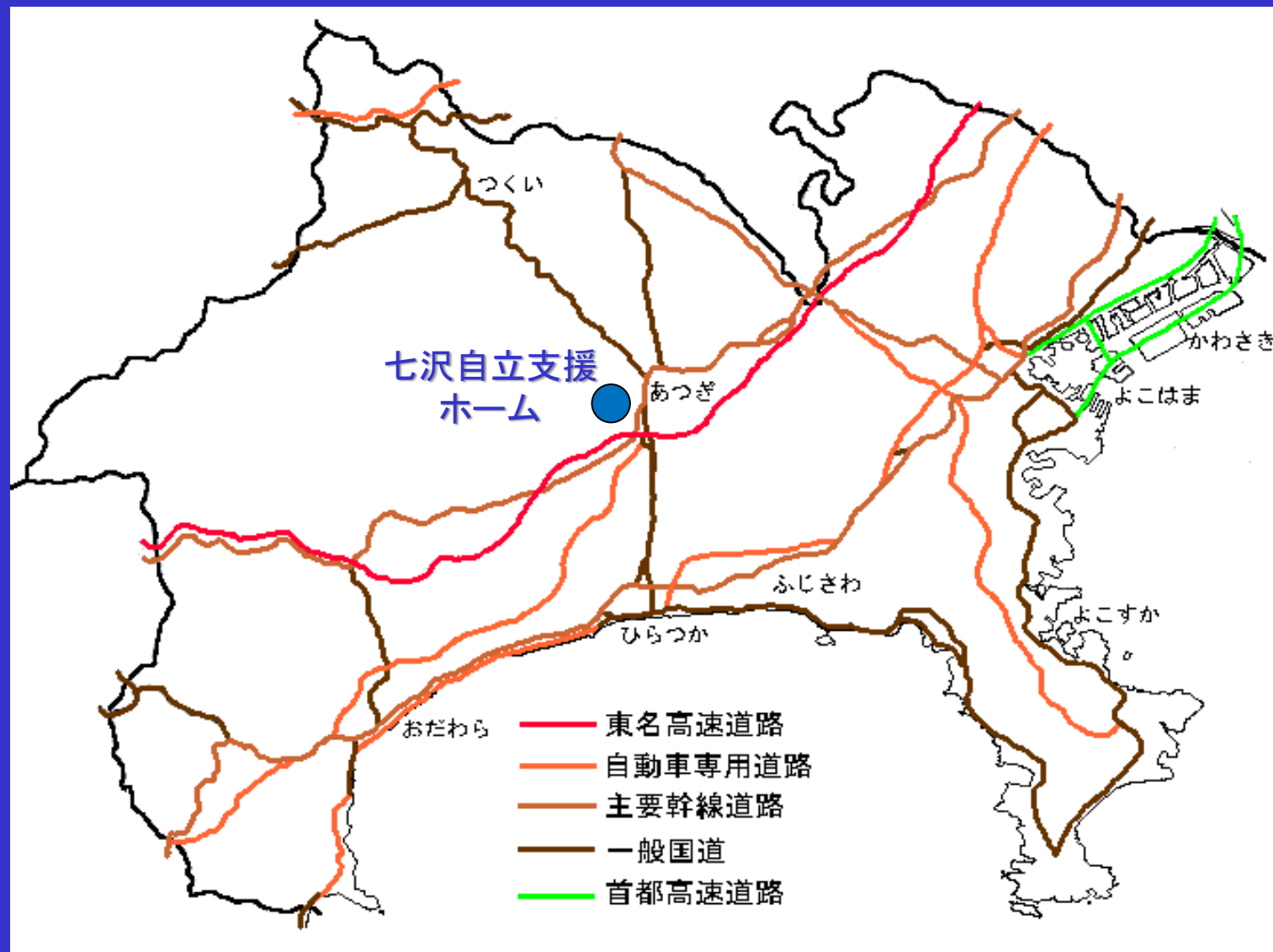
何もできないわけではない

何らかの手段、他の感覚
(触覚・聴覚・嗅覚等)を使って
必要な情報を得れば行動できるようになる

七沢自立支援ホームの紹介



七沢自立支援ホームはどこにある？



七沢自立支援ホーム視覚部門で どんなところ？

- ・ 視覚障害者のためのリハビリ施設
- ・ 18歳以上の視覚障害者が対象
- ・ 利用者個々のニーズに対応
- ・ 利用形態は入所・通所・訪問
- ・ 利用期間は3か月～1年半
- ・ 定員は機能訓練18名、入所支援10名

支援の目的

- ・ 社会参加と自立に必要な知識・技能の習得
- ・ 社会的環境調整

支援の内容

- ・ 生活支援(進路・生活相談、家族支援など)
- ・ 感覚訓練(諸感覚の活用訓練、スポーツなど)
- ・ 歩行訓練(屋内移動、白杖操作、屋外移動など)
- ・ コミュニケーション訓練(点字、ICT、録音図書など)
- ・ 日常訓練(身辺処理、家事動作など)
- ・ 体育・心理、その他必要に応じて、
PT・OT・ST等訓練

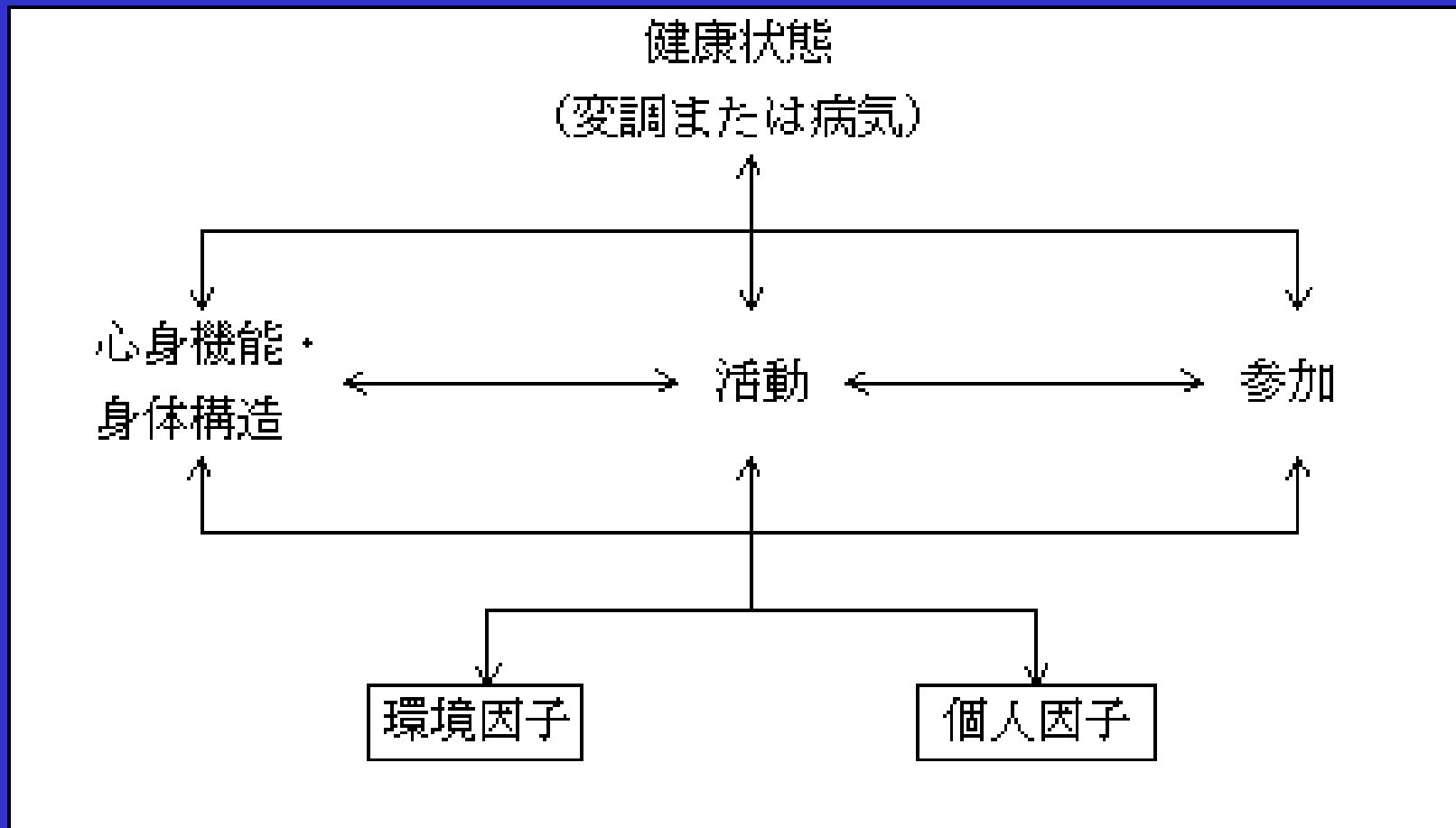
「障害」ってなんだろう？

- ・ 視覚障害者にとって「障害」って何だろう？

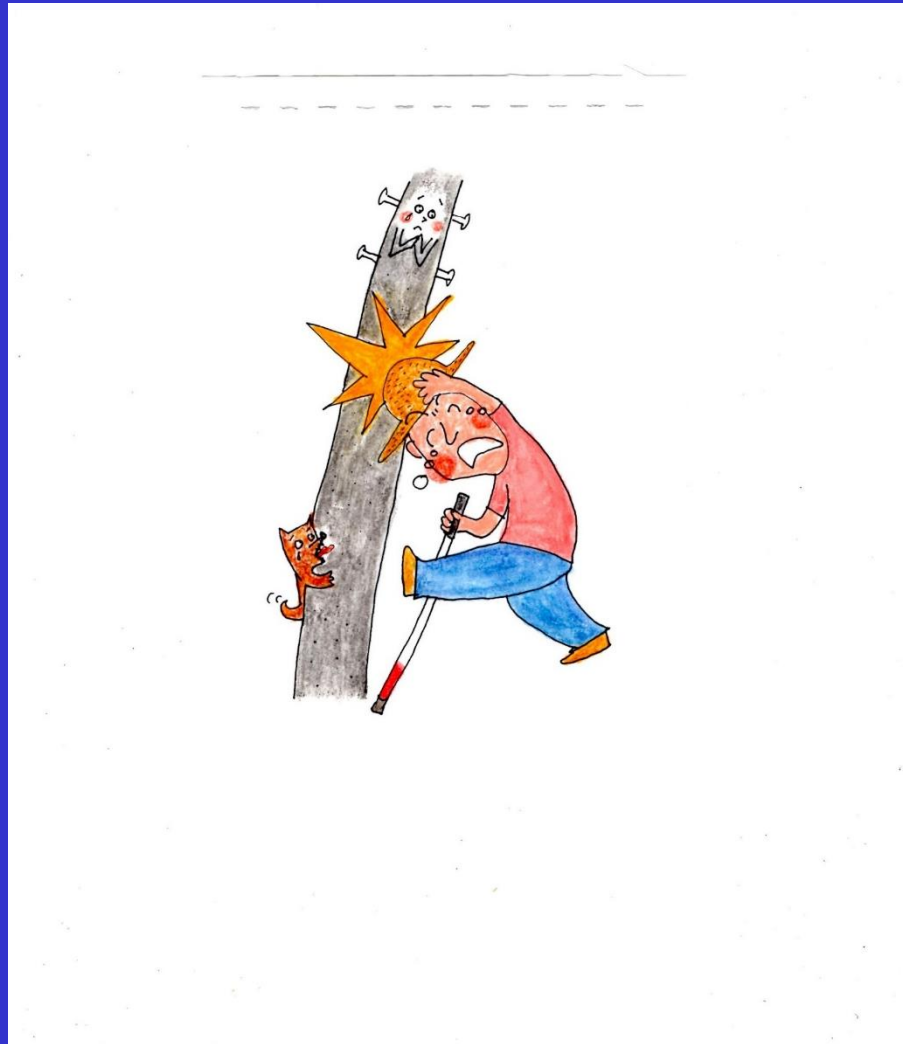
障害の考え方「医療モデル」 WHO「国際障害分類」



障害の考え方「社会モデル」 WHO「国際生活機能分類」



白杖を使って歩いている人が 電信柱にぶつかっている絵



障害の考え方

- ・ 「障害」の医療モデル
 - 見えない・見えにくいことが障害の原因とする考え
- ・ 「障害」の社会モデル
 - 社会環境によって障害が生じたり変化したりするという考え
- ・ 「障害」の人権モデル
 - 障害に配慮しない社会環境は人権侵害とする考え

視覚障害のまとめ

- ・ 視覚障害者にとっての「障害」とは
 - － 見えない・見えにくい状態で、家庭生活・社会生活を営む際、十分配慮されていないことによって生じる不便さや困難さ全て
- ・ 「医療モデル」から「社会モデル」へ、
そして「人権モデル」へ

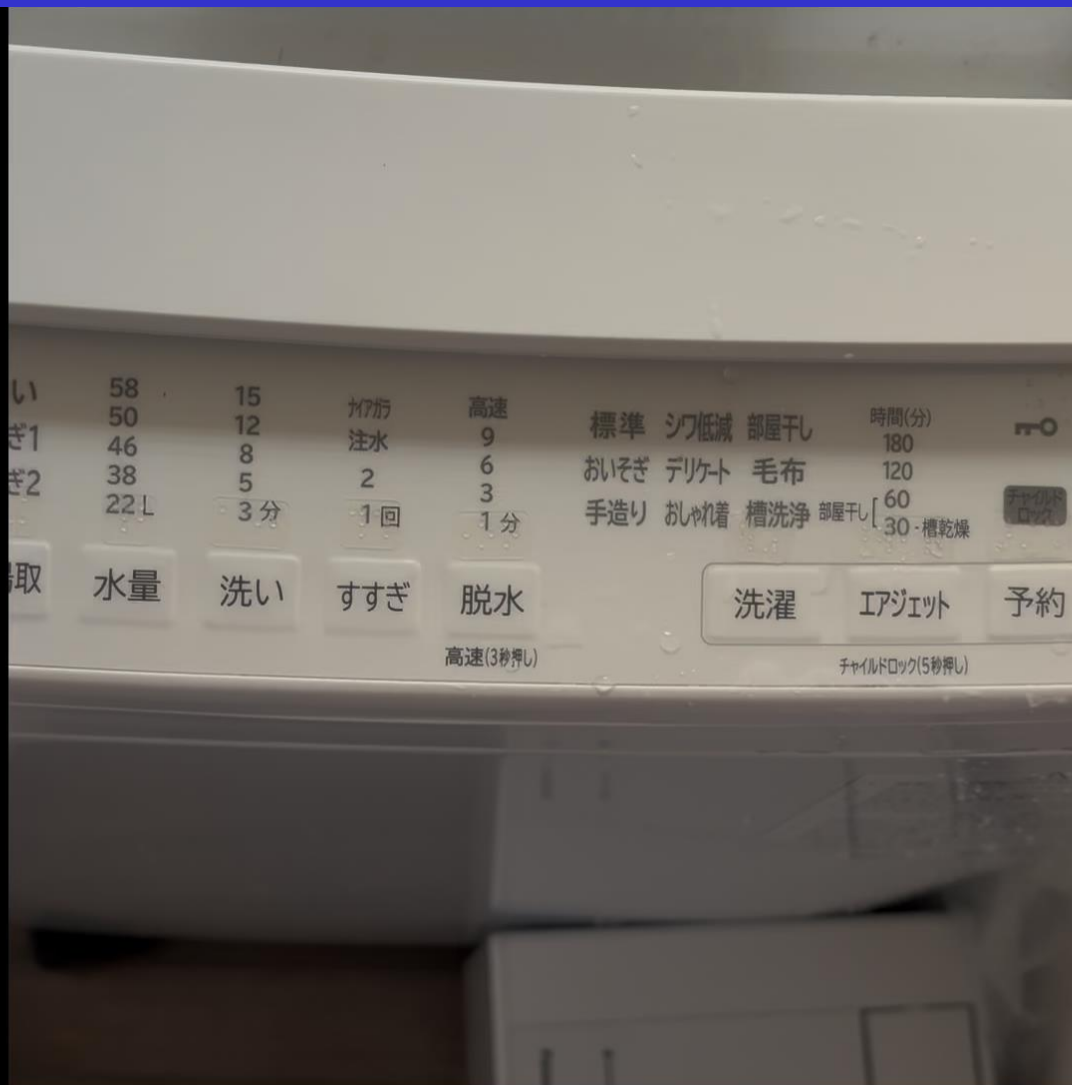
視覚障害者の生活を支える Assistive Technology

- ・ どんなことに配慮したらいいか、考えてみよう！

1日のスケジュールから

- ・ 6:00 起床・洗面・洗濯
- ・ 6:20 語学学習
- ・ 7:00 朝食
- ・ 7:25 洗濯続き
- ・ 8:00 徒歩で出勤
- ・ 8:30 勤務開始
- ・ 12:00 休憩・昼食
- ・ 13:00 勤務再開
- ・ 17:15 徒歩で退勤
- ・ 18:00 新聞閲覧
- ・ 19:00 夕食
- ・ 20:00 洗濯ものの片付け・
読書
- ・ 21:00 入浴
- ・ 21:30 PC作業
- ・ 22:45 就寝準備

洗濯機を操作



風呂給湯器を操作



台所給湯器を操作



照明スイッチを操作



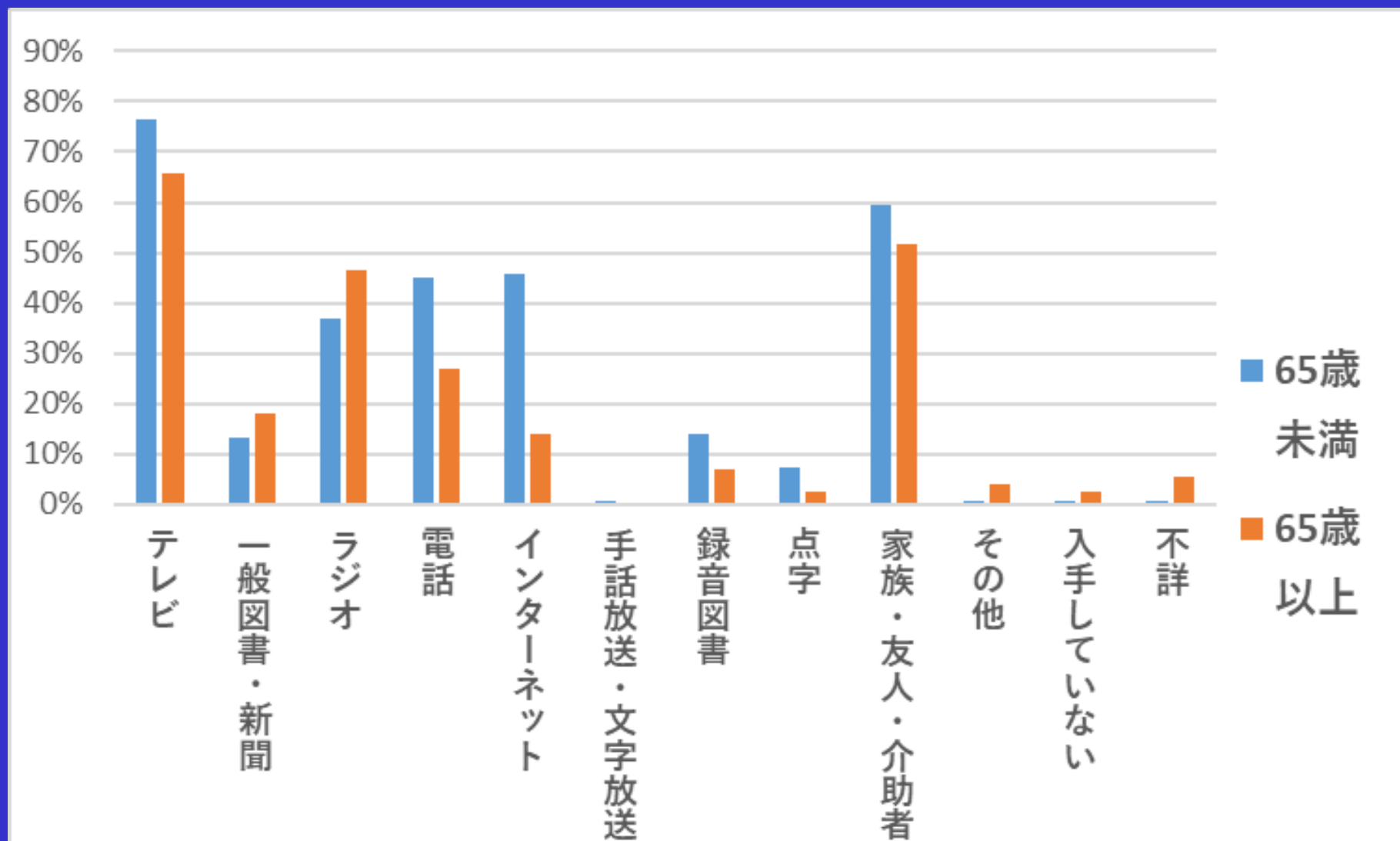
歩行ナビデバイス



視覚障害者の情報収集

- ・ 見えない、見えにくい人はどのように様々な情報を得ていると思いますか？

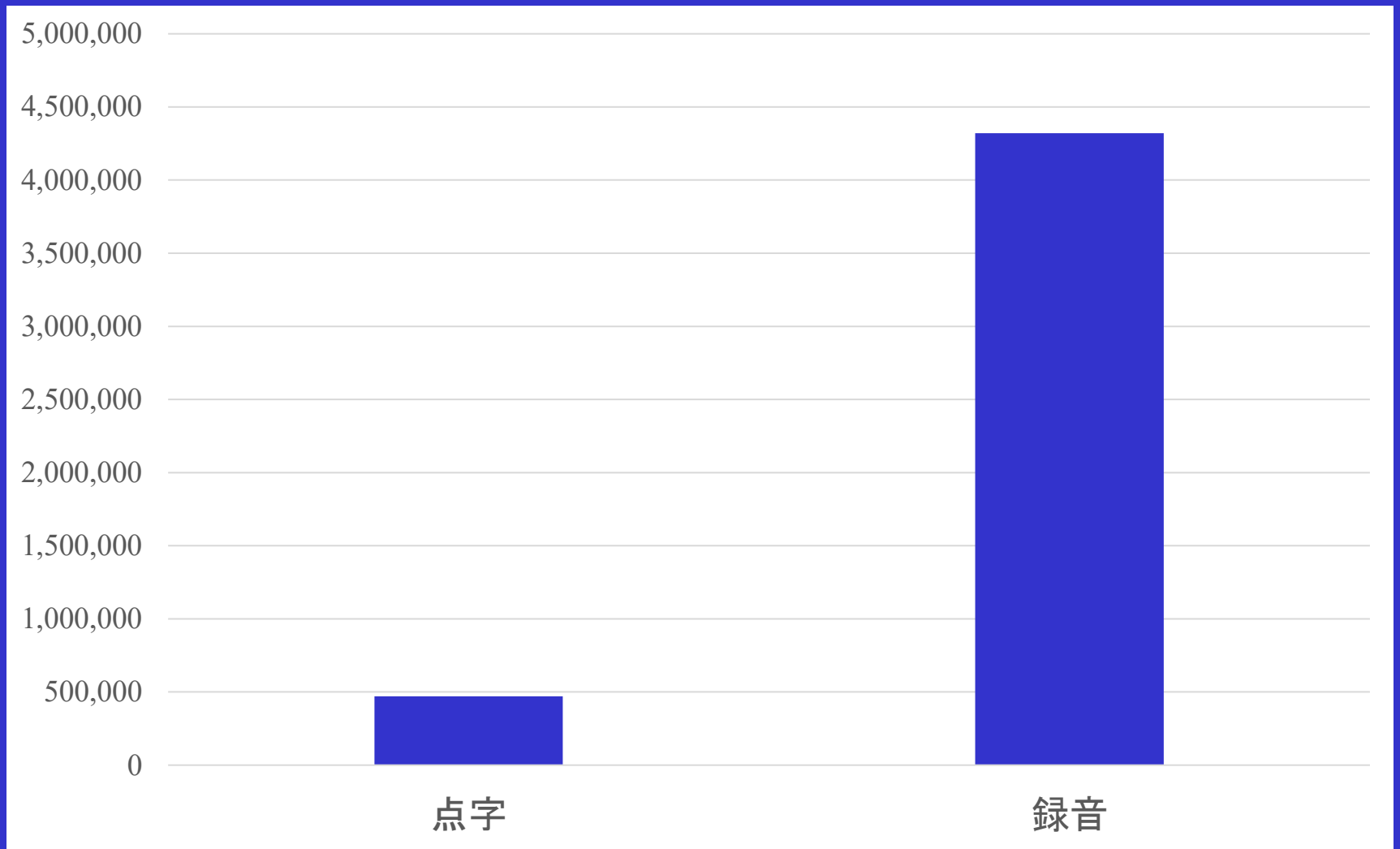
情報入手の手段



視覚障害者の情報入手は？

- ・ テレビ、家族・友人・介助者、ラジオが高い
- ・ 一般図書・新聞、録音図書、点字は低い
- ・ 65歳以上ではインターネットの割合が非常に低い
 - ※令和4年生活のしづらさなどに関する調査
(全国在宅障害児・者等実態調査)

録音図書は点字の約10倍



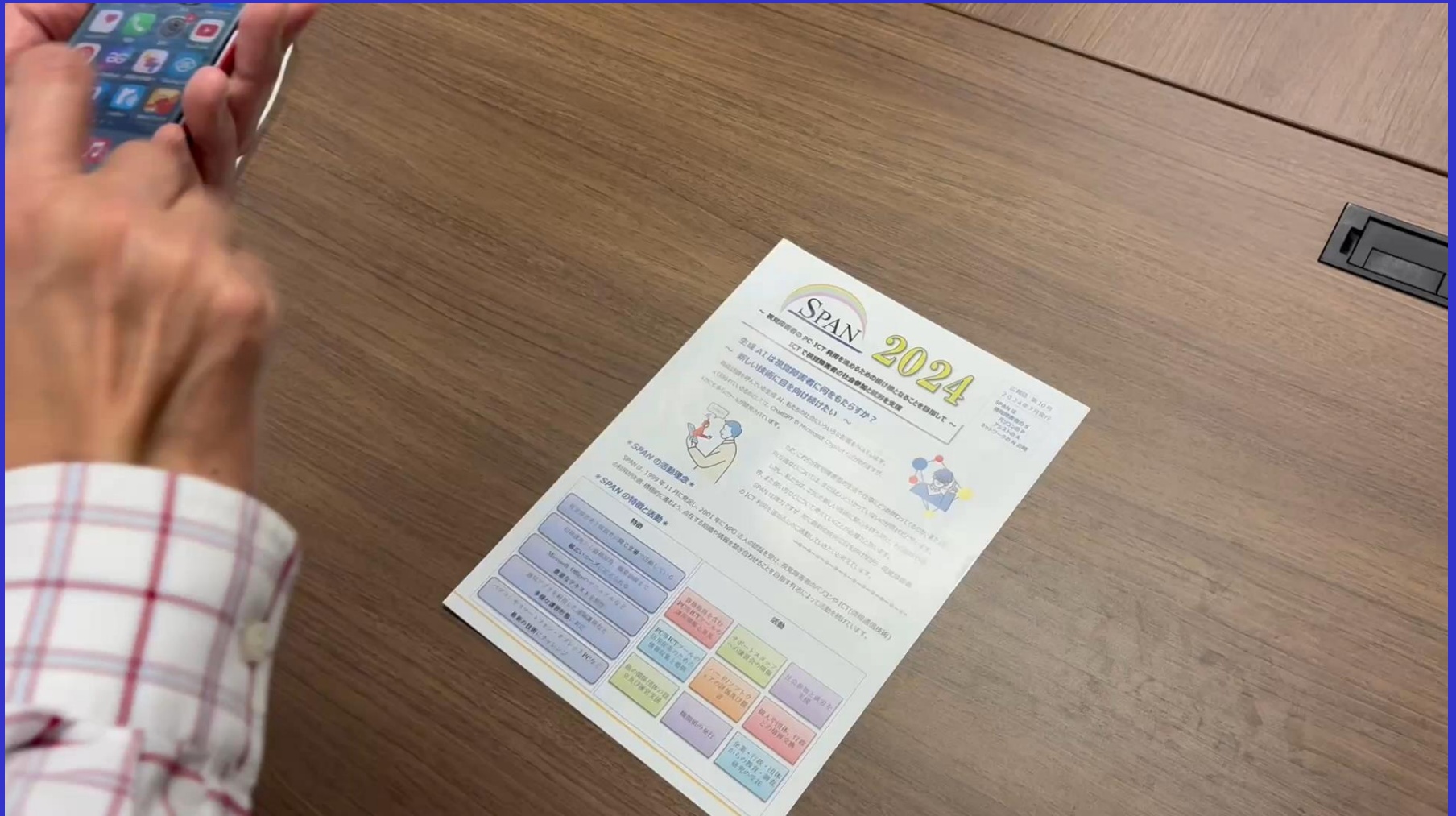
情報収集ー僕の場合ー

- ・ ニュース・メール・SNSなどはスマホでチェック
- ・ 読書はネット図書館から録音図書をダウンロード
- ・ ネット検索はPC中心、外出時はスマホでも
- ・ 墨字は職場や家で代読依頼、スマホでOCRも
- ・ 学習はやっぱり点字を触読して

iPhoneでネット検索



iPhoneで活字読み上げ



SPAN 2024

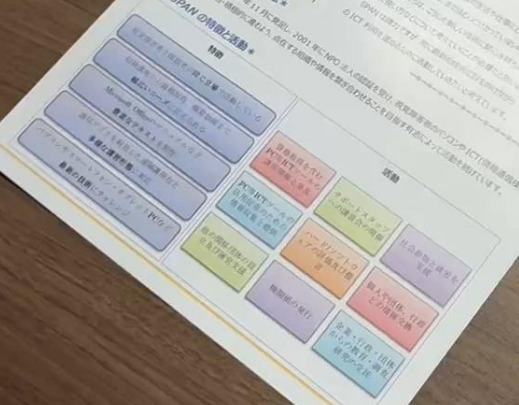
～ 高度情報通信技術 (ICT) 活用推進事業の推進に関する取組報告書 ～
ICTで高度情報通信技術 (ICT) 活用推進事業の推進に関する取組報告書

企業 AI は知能型業務に何を果たすか？
新しい情報にどう向き合おう？



* SPAN の活動理念 *

* SPAN の取組活動 *



点字ディスプレイを操作



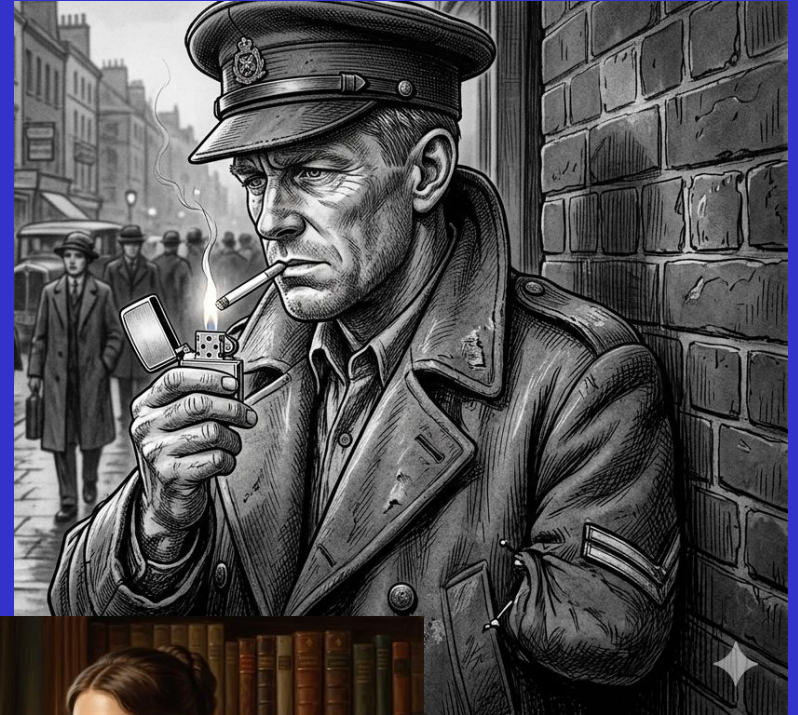
音声読書器を操作



Assistive Technologyがあっても 不便！！

- ・ そもそもアプリケーションソフトやウェブページがアクセシビリティに配慮して作られていないと操作できない！
 - マウスでしかボタンが操作できない
 - リンクやボタンの画像にテキストデータがない
 - スクリーンリーダー有効時にボタンが反応しない

はじめは支援技術



Curb Cut Effect

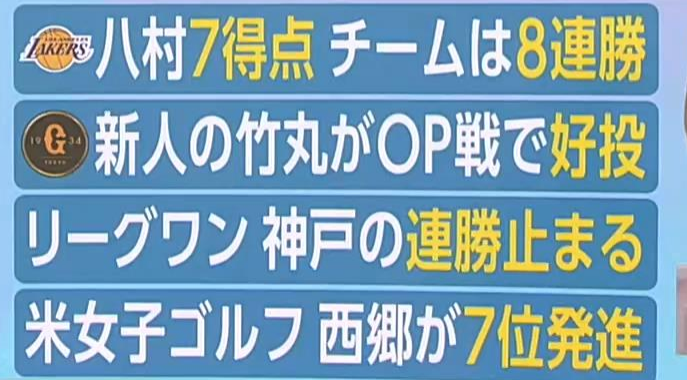
- ・ 不自由を解消しようとする切実な努力が、結果としてすべての人に快適さをもたらす
- ・ 段差解消の恩恵は、車椅子ユーザーだけでなく、ベビーカーを押す人や旅行カバンを持つ人にも及ぶ

豊かな生活を支えるために

- ・ 見えない、見えにくいから「できない」ではなく、
見えない、見えにくいなら「どうしたらできるようになるか」を考えよう！
- ・ Assistive TechnologyとUniversal Designは
車の両輪！

趣味はスキー

NHK



NHK NEWS

完

ご清聴ありがとうございました